

議題 4

令和7年度天理市地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（案）について

地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱第3条第5項及び実務要領に基づき当協議会が実施する地域公共交通確保維持事業について、効果的かつ効率的に事業を促進するため、補助金交付要綱の規定に基づき、協議会自らによる当該年度補助対象事業の実施状況の確認及び目標達成状況等の評価を行い、当該自己評価の結果を提出するもの。

天理市地域公共交通活性化協議会（ネットワーク全体の評価）

1. 協議会が目指す地域公共交通の将来像

公共交通の将来像

天理市地域公共交通計画の概要は以下のとおりである。

事業進捗や実施結果などについては、毎年、いわゆる「PDCA サイクル」の考え方に基づく評価を実施することで、社会情勢等、外生的な要因の変化などにも対応し、必要があれば事業内容の見直し・改善を行い、目標の達成を目指す。

○計画の対象区域

天理市全域とする。

○計画の対象期間

2024年4月～2029年3月（5年間）

○計画の基本理念

「支え合うまち天理」を実現する、広域的基幹交通と地域内交通とが連携したニーズに対応した地域公共交通ネットワークの形成

○計画の基本方針

- （1）市民の暮らしを支える、鉄道駅を中心とした公共交通ネットワークの形成
- （2）交通不便地域や高齢者等の移動手段の確保
- （3）観光客にとって利用しやすい公共交通の充実
- （4）幅広い連携による移動手段の維持・確保と利用促進施策の展開

○計画の目標

- ・公共交通の利便性に対する不満度合いの軽減
- ・地域内公共交通の利用者数の維持
- ・地域内公共交通の収支率の改善
- ・公共交通に対する市の負担額の抑制
- ・高齢者の運転免許証返納の促進
- ・来訪者の公共交通利用の促進
- ・関係主体による積極的な利用促進活動の推進

公共交通ネットワークのイメージ図

※別添1（地図）参照

2. 目標設定及びその達成状況の評価に関する事項

- ・各交通モードに対する満足度
- ・地域内公共交通の利用者数
- ・地域内公共交通の収支率
- ・路線バス及び地域内公共交通に対する市の負担額
- ・運転免許証返納者数
- ・主要観光地における公共交通を利用した来訪者の割合
- ・市民を対象とした利用促進活動の実施回数

3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

(1) 取組経緯

○協議会の開催状況

令和6年10月25日（書面開催）

- ・チョイソコてんりの目的地停留所追加について
- ・チョイソコてんりの利用と組み合わせたタクシー割引券配布事業について
- ・チョイソコてんりの会員規約改定について

令和7年1月10日（書面開催）

- ・令和6年度天理市地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価(案)について

令和7年2月10日（書面開催）

- ・なら歴史芸術文化村における交通アクセス（バス等の運行）について（継続）

令和7年3月31日

- ・「チョイソコてんり」について
- ・令和7年度天理市地域公共交通活性化協議会予算について
- ・路線バス天理桜井線利用者アンケート調査結果について

令和7年6月26日

- ・令和6年度決算及び監査について
- ・令和8年度生活交通確保維持改善計画（案）について
- ・令和6年度チョイソコてんり運行実績について

(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等

補助対象事業

地域公共交通確保維持改善事業				
事業	実施主体	着手・実施期間	種別	事業概要
チョイソコてんり運行事業	奈良近鉄タクシー(株)	R6/10～ R7/9	フ	自宅近くの住宅地停留所 210 か所から天理駅等の目的地停留所 35 か所へのアクセスについて、AIを活用し最適な経路と乗り合わせを算出して運行
チョイソコてんり運行事業	(有)天理交通	R6/10～ R7/9	フ	自宅近くの住宅地停留所 210 か所から天理駅等の目的地停留所 35 か所へのアクセスについて、AIを活用し最適な経路と乗り合わせを算出して運行

【種別】 幹：地域間幹線系統、フ：地域内フィーダー系統、策：計画策定事業、利策：利便増進計画策定事業、利推：利便増進計画推進事業、継策：運送継続計画策定事業、継推：運送継続計画推進事業

その他補助事業			
事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
天理市路線バス事業者エネルギー価格高騰対策追加支援金交付事業	天理市	R7/3	燃料価格高騰による影響を受けながらも、市民生活や経済活動を支える重要な社会インフラとして運行を継続している路線バス事業者の事業継続を支援するため、当該事業者に対し、予算の範囲内において天理市路線バス事業者エネルギー価格高騰対策追加支援金を交付した。
天理市タクシー事業者エネルギー価格高騰対策追加支援金交付事業	天理市	R7/3	燃料価格高騰による影響を受けながらも、市民生活や経済活動を支える重要な社会インフラとして運行を継続しているタクシー事業者の事業継続を支援するため、当該事業者に対し、予算の範囲内において天理市タクシー事業者エネルギー価格高騰対策追加支援金を交付した。

非補助事業

事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要
路線バス補助（天理桜井線）	奈良交通㈱	R6/10～ R7/9	バス路線（幹線）の継続運行のための補助
路線バス補助（天理都祁線）	奈良交通㈱	R6/10～ R7/9	バス路線（幹線）の継続運行のための補助

(3) 生産性向上の視点から取り組んだ事業

※「(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等」のうち、生産性向上を目指して取り組んだ事業について、その内容を記入して下さい。

※上記以外の事業においても、該当する事業・取組等があれば、その内容を記入して下さい。

事業	取組内容	効果目標
天理桜井線アンケート調査	天理桜井線の収支率向上を目指すうえで、利用者に対してアンケート調査を行い、その結果を分析した。	利用の多い時間帯や利用者のニーズを把握することができた。

4. 具体的取組に対する評価

◆地域公共交通確保維持改善事業を活用し運行を確保した下記の事業は適切な運行が確保された。

■AIを活用した乗り合い型送迎サービス「チョイソコてんり」

令和7年度ネットワーク計画（R6.10.1～R7.9.30）の目標利用者数 30,000 人に対し、28,936 人の利用があり、目標には及ばなかった。（達成状況 96.5%）

5. 自己評価から得られた課題と対応方針

課 題	課題への対応方針
<p>今後、さらなる高齢化社会を迎えるにあたって、買い物・交通不便者及び非免許保有者等への対応。</p>	<p>より生活に密着した公共交通を目指し、あらゆる年代が快適に生活できるような交通網形成を検討する。</p>
<p>公共交通のさらなる利用促進。</p>	<p>運行開始年度である令和6年度の利用者は27,335人であったが、次年度である令和7年度の利用者は約29,000人となる見込みである。利用者の増加により予約が取りづらいといった課題があることから、今後は自家用有償旅客運送と合わせた施策等も検討し、利便性の向上に努めていく。</p>
<p>「チョイソコてんり」の利便性向上</p>	<p>現状、市内全域をカバーしているため、予約が多い日は予約の不成立が見受けられる。令和8年春頃から開始する福住校区における公共ライドシェアと組み合わせることで、市街地でも小回りが効くことが期待できるため、予約の不成立を可能な限り解消し、「チョイソコてんり」の利便性の向上だけでなく地域内交通全体の利便性向上に努めていく。</p>

天理市地域公共交通活性化協議会（これまでの経緯）

1. 昨年まで（直近）の二次評価の活用・対応状況

昨年まで（直近）の二次評価における事業評価結果	事業評価結果の反映状況（具体的対応内容）	今後の対応方針
<p>【コミュニティバス】 適切に事業を実施し、目標・効果が達成されたことは評価できる。 キャッシュレス決済の導入などを実施しながら、引き続き、利用促進されることを期待する。</p>	<p>民間の広告制作事業者と連携し、「コミュニティバス」の時刻表（「デマンドタクシー」の情報も掲載）を作成し、広報紙折込により世帯に配布することにより、公共交通の利用促進を図った。 また、デマンドタクシーと統合するような形で、AIを活用したデマンド型乗り合い送迎サービス「チョイソコてんり」を導入し、今まで公共交通の乗降地点が無かった地域にも乗降地点を設置し、利用促進を図った。</p>	<p>引き続き市民及び利用者のニーズ調査などを行うことにより、利用者数の増加に努める。</p>
<p>【デマンドタクシー】 適切に事業を実施し、目標・効果が達成されたことは評価できる。 キャッシュレス決済の導入などを実施しながら、引き続き、利用促進されることを期待する。</p>	<p>民間の広告制作事業者と連携し、「コミュニティバス」の時刻表（「デマンドタクシー」の情報も掲載）を作成し、広報紙折込により世帯に配布することにより、公共交通の利用促進を図った。 また、コミュニティバスと統合するような形で、AIを活用したデマンド型乗り合い送迎サービス「チョイソコてんり」を導入し、今まで公共交通の乗降地点が無かった地域にも乗降地点を設置し、利用促進を図った。</p>	<p>引き続き市民及び利用者のニーズ調査などを行うことにより、利用者数の増加に努める。</p>

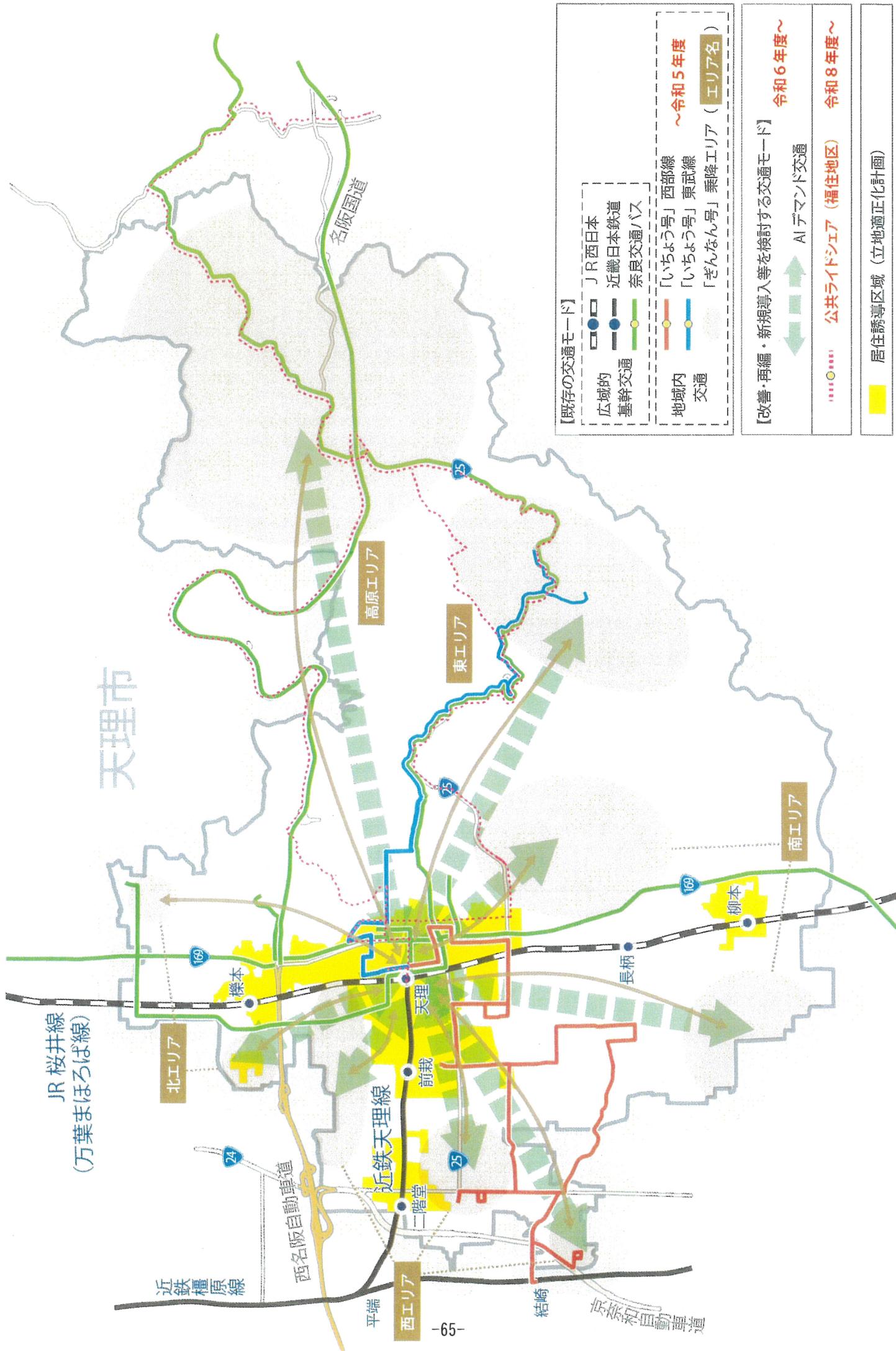
2. アピールポイント、特に工夫した点など

本市は地形的に平野部と東部山間地域が存在し、鉄道については南北にJRが走り、東西は近畿日本鉄道が通っているが、近畿日本鉄道は天理駅が終着駅であり、山間部へのアクセスは奈良交通㈱の路線バスのみである。

その状況下で、令和6年4月よりAIを活用した乗り合い型送迎サービス「チョイソコてんり」を本格導入した。従来のデマンドタクシーより柔軟な時間指定、従来のコミュニティバスよりもきめ細やかな停留所の設置を可能とし、令和6年度は27,355人の利用があった。現在、市内には停留所が245か所あり、住民の自宅近くの住宅地停留所（210か所）から医療機関、商業施設、公共施設に該当する目的地停留所間（35か所）への移動を可能としている。令和6年12月にはチョイソコてんりの利用と組み合わせたタクシー券の配布事業も開始。タクシー事業者と協定を締結し、チョイソコてんりで制限されている目的地停留所間の移動について、タクシー運賃の補助（タクシー料金500円割引券配布）を行っている。

また福住校区（長滝町、福住町、山田町）においては、地理的な理由から交通空白地となりやすい傾向にあり、住民からも自家用有償旅客運送の導入を望む声があったことから、ニーズ調査や初期費用の負担など、可能な限りの支援を行う予定である。

今後も引き続き、「支え合うまち天理」を実現するため、広域的基幹交通と地域内交通とが連携した利便性の高い公共交通網の形成を目指し、天理市地域公共交通計画に位置付けられた施策を中心に関係機関と連携し取り組みを推進する。



【既存の交通モード】

- JR西日本
- 近畿日本鉄道
- 奈良交通バス
- 広域的基幹交通
- 地域内交通
- 「いちよう号」西部線
- 「いちよう号」東武線
- 「ざんなん号」乗降エリア (エリア名)

【改善・再編・新規導入等を検討する交通モード】

- AIデマンド交通
- 令和6年度～
- 公共ライドシェア (福祉地区)
- 令和8年度～
- 居住誘導区域 (立地適正化計画)

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（地域公共交通計画に基づく事業）

令和 8 年 1 月 23 日

協議会名：天理市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名：地域内ライダーシステム確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回（又は類似事業）の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
奈良近鉄タクシー(株) チヨイソコてんり	自宅近くの住宅地停留所210か所から天理駅等の目的地停留所35か所へのアクセスについて、AIを活用し最適な経路と乗り合わせを算出して運行。	まちづくり施策と一体的な公共交通網再編を念頭に公共交通の利便性の向上などを進めた。	A 計画通り事業は適切に実施された。	令和6年度ネットワーク計画（R6.10.1～R7.9.30）の目標利用者数30,000人に対し、28,936人の利用があった（目標達成率96.5%）。	運行年度である令和6年度の利用者は27,335人であった。令和7年度の利用者は12月末現在で21,779人であり、年度では29,000人前後となる見込みである（前年度比約1,600人増）。今後も利用促進を含め、周知を図っていく必要性がある。令和6年度に策定した「天理市地域公共交通計画」に基づき、地域公共交通とコンパクトなまちづくりが連携する「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考え方のもと、まちづくり施策と一体的な公共交通網再編を念頭に公共交通の利便性の向上などを進めていく。また、住民や利用者に対して、公共交通の利便性を理解してもらえるよう啓発活動を強化する。
(有)天理交通 チヨイソコてんり	自宅近くの住宅地停留所210か所から天理駅等の目的地停留所35か所へのアクセスについて、AIを活用し最適な経路と乗り合わせを算出して運行。	まちづくり施策と一体的な公共交通網再編を念頭に公共交通の利便性の向上などを進めた。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B	

事業実施と地域公共交通計画との関連について

令和 8 年 1 月 23 日

協議会名:	天理市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内ファイダーシステム確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>本市の地域公共交通においては、市域を跨ぐ広域的基幹交通(鉄道・路線バス)と市内の移動を担う地域内交通(AIを活用した乗り合い型送迎サービス「チョイソコてんり」、民間運営の交通等)が、鉄道駅を中心に連携して地域を結ぶネットワークを形成している。通勤、通学、通院、買物などの生活面での移動を支えることができる利便性の高い地域公共交通網を形成することを目的とする。</p>